

日本IBMのCSRについて

100年の歴史を持つIBMのCSR

IBMの創立者であるトーマス・J・ワトソンSr.の言葉「良き企業市民であれ (IBM should be a good corporate citizen.)」には、「IBMは社会とともに発展していく」との強い思いが表れています。CSRに通じるその考えは、社内にしっかりと根付き、「良き企業市民」であることは創立以来の理念として受け継がれてきました。そして、創立100年を迎える今日まで、CSRへの取り組みはIBMの企業活動の大きな柱として存在し、時には、社会の先頭に立つ先進的な取り組みを進めてきました。

下の数字の100をかたどったアイコンは、この100年間のIBMの主要な成果から100の事例を選んで作られたものです。時代に先駆けたCSRの先進的な取り組みも選ばれています。

1914年

障がいを持つ社員の雇用を始めました。



1954年

1930年に同じ職務を行う場合の男女の同一賃金を実現し、米国民権法制定の11年前の1954年に、男女雇用機会均等を実現しました。



2005年

世界で初めて、採用にあたって遺伝構造から収集される情報による差別を行うことを禁止しました。



また、選ばれた100の事例の中には、日本IBMが生んだイノベーションによって世界に大きな貢献を果たした事例も含まれています。例えば、1981年にパーソナル・コンピューター時代の到来となったIBM PCが登場し、その後、日本IBMが開発したノートPCのThinkPadが世界中の人々に使われるようになったことなどが挙げられています。



1981年にIBM PCが登場



日本IBMが世界に向けて開発したThinkPad*

*写真は2003年に発表されたモデル。ThinkPadは現在レノボ (Lenovo) 社の製品です。

IBMers Value (IBM社員の価値観)

世界のIBMグループ社員 (IBMer) の行動指針となっているのが、「IBMers Value」と呼ばれる共通の価値観です。



- お客様の成功に全力を尽くす
Dedication to every client's success.
- 私たち、そして世界に価値あるイノベーション
Innovation that matters for our company and the world.
- あらゆる関係における信頼と一人ひとりの責任
Trust and personal responsibility in all relationships.

日本IBMのCSRへの取り組み

IBMの伝統は日本IBMにも受け継がれ、2010年1月に示された日本IBMグループの新しいビジョンの中でも、「良き企業市民」としての決意を明確に位置づけています。

IBM Japan Group New VISION

新たな価値をお客様と共創し、テクノロジー・リーダー、そして良き企業市民として、
日本の変革に地球視点で貢献するリーディング・カンパニー

Drive Japan's transformation from a global perspective through collaborative value creation
with our clients as a technology leader and a good corporate citizen.

- 社会とお客様の価値創造をリード
 - 新たな変革を支えるテクノロジーをリード
 - 良き企業市民としての社会的責任の遂行
- Differentiate IBM by focusing on Client Value
Drive transformation through technology
Corporate Social Responsibility

創業からのIBMの伝統を受け継ぎ、全世界のIBMerと共通の価値観に立ち、そしてこのビジョンのもとで、日本IBMのCSRの取り組みが推進されています。

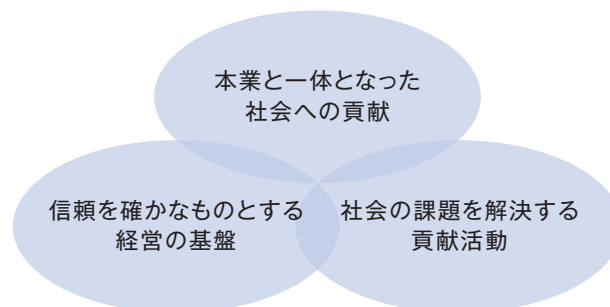
CSRの考え方

日本IBMでは、CSRの取り組みを大きく次の3つの分野に分けて考えています。

1. **本業と一体となった社会への貢献**
2. **社会の課題を解決する貢献活動**
3. **信頼を確かなものとする経営の基盤**

CSRを日本語にした「企業の社会的責任」は、コンプライアンスや企業倫理の実践（上記の3）、あるいはIBMが力を入れている教育界や学界、NPO/NGOへの支援（上記の2）といったイメージが強いかもしれませんが、しかし、企業の事業そのものと一体となった社会への貢献こそが最も大きな部分を占めるべきと考えています。

IBMが事業として提供する情報技術（IT）は、生産性向上のツールにとどまらず、現在はより積極的な変革の手段になっています。世界にはさまざまな無駄や非効率はまだ多く存在していますが、高度なITを活用することで、私たちの世界の仕組みをより良く働かせることが可能になってきました。本業においてさまざまなお客様やパートナーの皆様と価値の創出を行うことで、IBMは自らの企業価値の向上に努めるとともに、地球と社会への貢献を果たしていきたいと考えています。



こうしたCSRの考え方に立ち、未来に向けて、IBMはこれからも「世界に価値あるイノベーション」を通して、皆様とともに社会の発展に貢献していきます。